

トピックス
「おすすめの本」



ワクワクする職場をつくる

「管理」より「つながり」

組織変革は経営サイドが戦略を立て、現場の実践を管理するのが従来の手法だが、IT化の進展などで経営と現場との情報格差が縮小する一方、社員同士のコミュニケーションが希薄化した現代では、むしろ現場にいる個人、それも感情のレベルから変わることが組織の活性化に有効だと本書は主張する。

「何も変わらない」というあきらめ感の蔓延した現場なら、まず個々のメンバーに働く喜びや意欲を取り戻させ、課題解決のために積極的に周囲とつながる意識を醸成する。それによってメンバー間で思いや志を共有し、改善・変革へつなげることが効果的であると、いくつかの実践例と共に解説している。

覇気のない職場をなんとかしたいと悩む人に、平易な表現で示唆を与えてくれている。

(高橋克徳・重光直之共著、実業之日本社刊、Tel03-3535-4441、1400円+税)

編集後記

厳しい残暑が予想された今夏ですが、会員皆様の体調はいかがでしょう。

熱中症が各地で多発していますが、年を追うごとに夏の気温も上がっているように感じられます。やはり地球温暖化の影響でしょうか？

さて、本号には平成27年(1~12月)において当協会の委託事業所で発生した労働災害について、その発生状況を集計・分析して載せておりますが(P4~5)、全63件のうち熱中症が2件ありました。貨物運送業と林業でいずれも屋外作業中に発生しています。

年を重ねると徐々に体の筋肉が落ちてきますが、実は筋肉は水分の補助タンクの役割を担っているようで、タンクの容量が小さくなった年配者は特に水分や塩分・ミネラルの補給をこまめに行う必要があるようです。

ところで、この後記を書いている最中にリオのオリンピックで日本が水泳、体操、柔道に引き続き、レスリングでも金メダルを獲得し、金メダルの合計が10個に達したとのニュースが流れてきました。4年後の東京オリンピックにつながる好成績と言えるでしょう。

期待を一身に背負い重圧と戦っている選手には頭の下がる思いです。是非「心・技・体」を整えて競技を楽しんでほしいと思います。

頑張れ、ニッポン！

(専務理事 鈴木 寿信)